



# NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL http://www.shibuya-p.com

4月1日、新たな事業年度・72期がスタート。シブヤの「サクラ」は、名古屋気象台の開花宣言(3月19日)から一週間余り遅れて咲き始めたものの、2名の新入社員を歓迎するかのよう、この朝、満開を迎えました。

朝礼では、社長から2名の新入社員が今日の満開のサクラのように「一日も早く、花を咲かせることが出来るように指導して欲しい」との話がありました。

満開のサクラとともに「ピカピカの社会人」としての第一歩をシブヤの一員として踏み出した二人に「シブヤしぐさ」にある、

**あいさつ 「あかるく いつも さきに つづける」**

**「やってみせ、言ってきかせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」**

のとおり、声をかけ、仕事については、見本を示しながら、褒めて、育ててやって欲しいものです。大切な「人財」が一日も早く、そして、いつまでも、その名のとおり眩しく輝く、シブヤの「財(たから)」となるよう、育てて行きましょう。

午後からは「72期・経営計画」の発表があり、「品質目標」「品質方針」「環境方針」を含む基本方針が示されました。

IS活動も、これらの基本方針に沿って、72期のスタートをきることとなります。

環境に「やさしい」企業活動、日常生活に心がけましょう。



4月18日にはマネジメントレビューが開催され、2015年度のISO活動の分析報告が行われます。分析結果を参考にして、5月からは新規格：2015での活動をスタートすることになります。今までと同様に「年間改善活動計画書」「目標カード」を用いて、経営計画書の基本方針に沿った、年間改善活動計画の策定、目標の設定を行い、よりよい改善、目標達成に向けて、一年間活動して行きましょう。

## ＜ISO活動予定＞

4月18日	マネジメントレビュー(71期分析報告)	8月18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	10月下旬	外部定期審査
	ISO:2015 新規格勉強会	31日	年間改善活動計画書(前期)中間評価提出	11月18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
5月	ISO:2015 運用開始		内部監査(8月下旬～9月上旬)	12月19日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
	年間改善活動計画書(前期)提出	9月20日	マネジメントレビュー(72期定期)	1月18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
	目標カード(前期)提出		目標カード(前期)中間評価	2月17日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
5月18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	10月18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	28日	年間改善活動計画書(後期)最終評価提出
6月17日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)		社長面談(前期目標カードによる)		目標カード(後期)評価提出
7月19日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)		年間改善活動計画書(後期)提出	3月17日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
			目標カード(後期目標)提出	中旬	内部監査

## もう一度考えよう！！ 紙・水・電気・ガソリン

現状の地球温暖化は、一般に知られているよりずっと深刻といわれています。そして、地球温暖化はさまざまな環境問題を引き起こします。今月は「紙」と環境破壊を考えてみましょう。

### 紙と環境破壊 (参考資料：地球温暖化白書)

私たちが普段使っている、ティッシュやトイレットペーパー、新聞紙、牛乳パック、ダンボールなど・・・私たちの生活にはこれらの「紙」が欠かせません。しかし、紙の原料はすべて木(パルプ)です。紙を使えば使うほど多くの木が切られていきます。私たちは紙を使うたび、森間接的に林を破壊しているのです。

陸地の約3割が森林とされ、そこは水を貯め込む「自然のダム」とも言われています。森林には地球上の生物種5～8割が生息し、病気に有効な微生物や菌類などもあります。また、光合成を行い、地球温暖化の最も大きな要因と言われる二酸化炭素の吸収という大切な役割も果たしています。

紙を作るために多くの木が伐採され、地球温暖化の原因となる森林破壊を引き起こしています。

今月は身近な紙製品やその消費が引き起こす、森林破壊の実態や私たちにも出来る対策などを考えてみましょう。

### 紙の生産と森林破壊

世界における紙の生産量は約3億トンとされ、日本はアメリカ・中国に次ぐ第3位、紙の消費量は世界第7位となっています。紙の原料は木、いくら廃材や間伐材などを使っていたとしても「木」であることに違いはありません。

オーストラリアのタスマニア州では毎年サッカー場9,500個分の森林が伐採されており、そのうち90%はチップとなり、日本をはじめとする諸外国へ輸出され、紙製品となります。

紙の消費の一方でタスマニアやその他の森林や生態系が破壊されています。世界の森林を守るためにも、私たちは紙の消費量を減らさなければなりません。

### 日本の紙消費

国民1人あたりの年間紙消費量は約240kgにもなります。これは世界平均の4.5倍に相当し、1日あたり約650g、B5サイズのノート5～6冊分もの紙を消費しています。

ティッシュペーパーの年間消費量は約50万トン、これを木材に換算すると木造住宅(3LDK)7万軒分に相当し、世界第1位。

トイレットペーパーの年間消費量は約95万トンです。

1人あたり年間、約3kmものトイレットペーパーを使っている計算になります。

紙おむつの年間消費量は約37億万枚、これには約1,000万本もの木が必要です。毎年、甲子園球場の約1万倍の森林がなくなることとなります。私たちは便利な生活を手に入れた一方で環境を破壊しています。

牛乳パックは毎日2,000万本分、年間72億本もが利用されています。年間消費量は20万トンとなります。紙パックのリサイクル率は約20%です。

新聞は毎日7,000万部発行され、これを木材に換算すると、なんと年間で木造住宅50万軒分に相当します。

書籍・雑誌は年間47億冊発行され、木造住宅20万軒分、150～200万トンもの木材が使われていることとなります。



### 紙の消費を減らすため、私たちに出来ること

私たちが消費する紙製品は年間およそ3,000万トン、木造住宅300万軒分に相当する木材が使われています。人間によって失われた森林を取り戻すには、私たち1人1人の工夫や努力が必要で

- ・無駄な印刷、コピーはしない。コピー用紙は両面を使う。
- ・ティッシュは出来るだけ使わず、ハンカチや布巾などを使う。
- ・トイレットペーパーの使用量を減らす。
- ・雑誌や本の衝動買いはやめ、図書館を利用する。
- ・牛乳パックなどは捨てずに、リサイクルする。
- ・山林での植林や枝打ちなど、森林保全活動に参加する。